

さいたま市麻疹週報

平成 31 年第 10 週(3 月 4 日～3 月 10 日)

麻疹患者の報告が 1 人(病型:検査診断例、推定感染地域:ベトナム)ありました。麻疹の報告は今年 1 例目となります。詳細情報は、市ホームページに掲載している「[\(平成 31 年 3 月 9 日記者発表\)麻疹\(はしか\)患者の発生に伴う注意喚起](#)」をご覧ください。

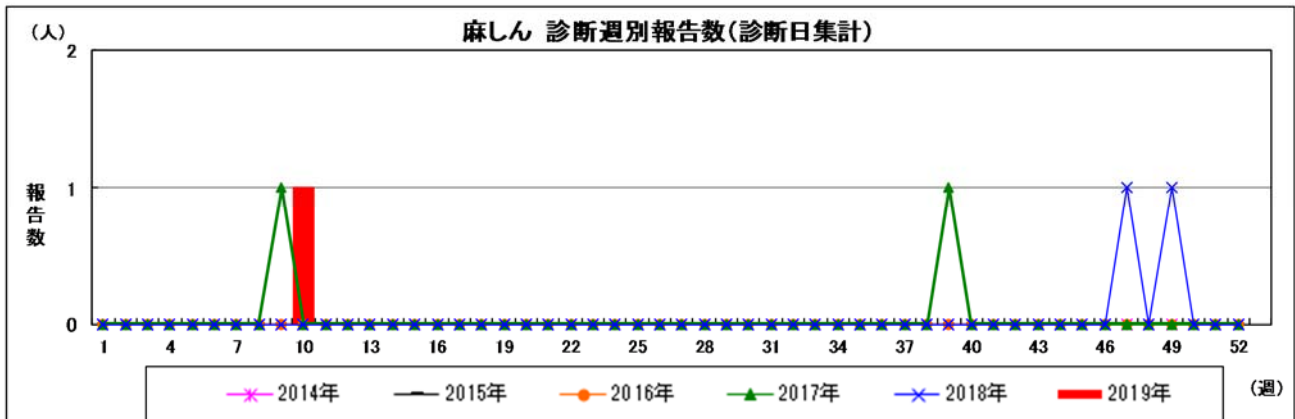
麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染すると潜伏期(10～12 日間)の後、38 度台の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発疹が現れます。肺炎や脳炎などを合併して、重症化することもあります。

症状などの詳細は、市感染症情報センターホームページ「[麻疹\(はしか\)](#)」をご覧ください。

◆第 10 週までの麻疹報告状況

| 診断週 | 診断日 | 発病日 | 年齢(歳) | 病型 | 予防接種歴 | 推定感染地域 |
|------|------|------|-------|-------|-------|--------|
| 第10週 | 3月8日 | 3月4日 | 40～44 | 検査診断例 | なし | ベトナム |

◆報告状況のグラフ



◆さいたま市の麻疹報告数(取り下げ例を除く)

| 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 90 | 5 | 5 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 |

※麻疹は 2007 年に 10 歳代を中心に流行し、2008 年から全数把握対象疾患となりました。

麻疹はワクチン接種が最も有効な予防手段です。定期予防接種の対象年齢は、**第 1 期(1 歳)、第 2 期(小学校入学前の 1 年間)**となっています。

対象年齢の方は、早めの予防接種をお願いします。

それ以外の方については、自費での予防接種が可能ですので、医療機関にご相談ください。



※医療機関におかれましては、二次感染防止のための院内感染対策の徹底が重要となります。国立感染症研究所で「[医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版](#)」を作成していますので、ご参照ください。